

〒428-0007 島田市島581番地の14 電話：0547-46-5561 FAX：0547-46-5566
ホームページ：<http://www.hcc-kokoro.jp/> Eメール：w-cocoro@hcc-kokoro.jp

ご挨拶

夢の実現に向け、仲間と共に『こころ』を育てていく！！

新理事長 山城 厚生

先ずもって此の春の東日本大震災において被災された方々にお見舞い申し上げます。

4月の終わり頃、私も岩手県山田町に行って参りました。その光景は実に酷く、あの広島・長崎を思わせるものでした。その厳しい状況下において、役場の庭には桜が開き人々を和ませておりました。厳しさも恵みも大なる自然の営みを改めて知らされた思いでした。

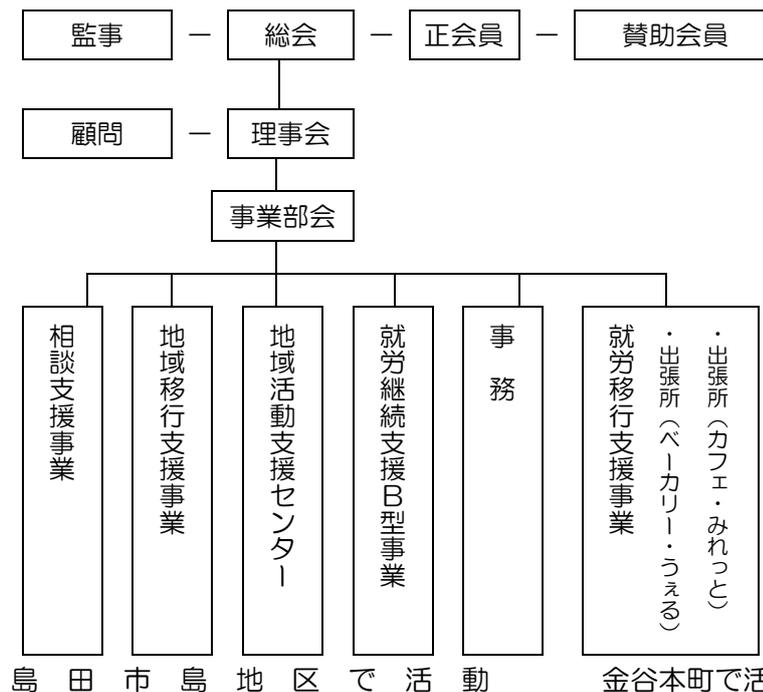
さて、去る5月21日に開催されました当法人の年次総会におきまして、小澤巖前理事長に代わり、山城厚生が再び理事長を務めることとなりました。当法人を創設した者として、責任もって運営していかなければと肝に銘じております。

8年目を迎えます当法人は、厳しい財政ではありますが毎年のように新事業に取り組んでおり、本年度は就労支援事業における利用者の工賃アップ等を考慮し、石鹸作り及び販売にも挑戦したいと、計画を進めているところでございます。本年度の重点目標として次の項目を挙げております。

- ① 誰もが持つストレンクス(強み)を認めあい発揮する。
- ② 地域交流等協働の強化。
- ③ 法人組織体制と財政の強化。

当法人の初心は『誰もが安心して、ごく当たり前生活できる地域社会づくり』です。それを目指し、主人公である利用者・スタッフ及び関係者の仲間が丸となり、この『こころ』を育てて参りたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

こころの組織図



新理事 丸山とし子

この度理事という重責に任命され、これまでたまにイベントのお手伝い等はさせて戴いた事はありましたが、総会・理事会に出席する度に大変なお仕事をされている事が徐々に見えて参りました。今日の住みにくくなった社会の中で障害者はもちろんの事全ての人が地域において安心して暮らせる社会の実現を目指し、会員の方・職員・理事が一丸となり目的に向かって何でも話し合える「NPO法人こころ」の発展のため微力ながら勤めて参りたいと思いますので今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

新理事 鈴木隆之

本年度より理事に就任させていただきました鈴木隆之です。島田市商工会金谷支所に勤務し、企業や自営業者の相談指導をしています。南地域交流センター内に事務所があり、「ベーカリー・うえる」「カフェ・みれっと」の皆さんと関わり「こころ」を知りました。商工会も地域の活性化を目標としていていますので「こころ」の活動と連携できる部分がたくさんあると考えています。よろしくお願い致します。

新理事 菅原小夜子

当法人の活動は多くの人たちのご理解、ご協力、そしてなによりも利用されている方々の思いによって少しずつ成長してきています。しかし、その成長の過程には様々な困難や課題も発見され、さらに成長するための機会が与えられていると認識しています。今までは、現場の責任者としてより具体的な困難や課題を見つめてきましたが、今年度より法人理事として当法人の事業全体が安定的に実施できるための基盤強化を検討していく使命があると感じています。法人運営と現場実践とのパイプ役としても努力してまいりたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

平成23年度目標

「メンバー・スタッフそれぞれがもつ力を発見し活動に活かす」

「地域の活性化に向けた連携をはかる」

私たちはたくさんの可能性と大きな力をもっています。しかし、さまざまな状況や環境の中で、本来だれもが持っているはずの力を発揮できず、生活しにくい状況に陥ってしまうことがたくさんあります。

すると、つい私たちは、力が発揮できない原因や課題を見つけようと考え始めてしまいます。そして、「ここに問題があるから〇〇を解決しよう」「〇〇ができないから〇〇ができるようになる」と、その人が持つ弱点や問題を追及し、それを改善することにエネルギーを注ぎ始めます。

ここで、少し考えてみてください。一見「目標に向かって頑張っている」ように見えるかもしれませんが、しかし、実はそこに落とし穴があります。つまり、いつも自らの欠点ばかりに目を向けることによって、そもそも自分が出来ていることや隠れている力に気づきにくくなってしまいます。それどころか課題が解決できない時は「自分は何をやってもうまくいかない」「自分はよくなるまい」と自分に対する評価がどんどん低くなってしまいます。この自分に対する評価（＝自己価値）が低くなってしまふことは最も避けなければいけません。私たちは、夢や希望をもち、たくさんの潜在

的な力（＝ストレングス）を発揮し、自分たちのくらしを創造できる大きな可能性を持つ存在です。そして、それは私たちを取り巻く地域の中にもたくさん眠っています。

さまざまな潜在的な力を探す一年にしていきましょう！！

施設長 菅原小夜子

各事業報告

1. 相談支援事業

相談支援は一回で終結するケースはほとんどなく、継続して支援していくことになります。主役は利用者です。どういう暮らしを望んでいるのか、そのためにどのように組み立てていこうか等、一緒に考えていきます。個別支援を重視しつつ、個人としての問題ではなく、地域の課題として置き換えていくことで、住みやすい地域づくりをめざしています。

平成 22 年度の受託内容は、相談（面談、訪問）、福祉サービス事業所や病院等関係機関との連絡調整、島田市自立支援協議会や地域課題検討部会等への参画など個別支援を中心に各種会議へも参加しました。県の事業である地域移行支援事業へも相談支援事業所としてかかわっています。平成 22 年度島田市の個別支援件数は延べ 1,776 件、川根本町の個別支援件数は延べ 99 件、給付事業の契約利用者は 4 人です。

今年度は、島田市民の相談を受ける場所が市役所内となり、当法人から週 3 日相談支援専門員が出向くかたちになりました。また、志太榛原地域が圏域自立支援協議会のモデル地域となり、相談支援事業所として参画していくことになりました。

なお、去年の夏にピアカウンセリング講座基礎編を受講したメンバーを中心に、ピア活動こころ版を計画し手始めに 8 月にワークショップとして、ピアカウンセリングの体験講座を予定しています。活動の幅も広がる中で、「主役は利用者」であることを忘れずに、相談支援体制の構築に携わっていきたいと思います。

2. 精神障害者地域移行支援事業

本事業が開始され 4 年目となった昨年度は、様々な関係機関との協力の中で 2 名の方が退院をされました。2 名の方の地域移行を通して、当圏域の地域の課題がより具体的となり、最終年である今年度はその課題を自立支援協議会へとつなげていくことと考えています。

また、昨年度は JHC 板橋会（東京）への視察研修、学習会（クラブハウスについて）を開催し、支援者の視点や地域作りについて多くのことを学ぶ機会となりました。今後も継続して学んでいきたいと思っています。

3. 地域活動支援センター事業（サロン）

平成 22 年度から“見学→試行 3 回→面談→登録”と利用に至る過程のなかで、一人ひとりとじっくり話し合うことができたと思います。“サロン”は基本的には、のんびりしたり、本を読んだり、横になったり、おしゃべりをしたり・・・各人思い思いに過ごすことができる場所です。午前中は手芸・折り紙・将棋・オセロ・健康麻雀など声を掛け合って仲間同士で楽しんでいます。

クラブ活動へも自由に参加でき、ソフトバレーボール・卓球・ソフトボール・グラウンドゴルフの運動部と、コーラス・カラオケ・ミュージックバンドの文化部があり、年間約 130 回で 750 名の参加がありました。バレーは県大会出場を果たし、わかふじ卓球大会ではメダルを獲得したメンバーもいました。

センターの夏祭りやもちつき大会には“ミュージックバンド”や“みんなで唄おう”の各クラブが出演して盛り上げています。

200円ランチは毎日行っていますが事前にメニューを決めたお楽しみランチは（手巻きすし・バーベキュー・サンドイッチ・冷やし中華など）10回で140名の参加で、準備から食べるまでワイワイガヤガヤ楽しく行いました。桜餅・心太・ケーキなどスイーツづくりも毎回好評で80名の参加でした。季節を楽しむ行事（外出・祭り見物など）は20回130名の参加でした。サロン茶話会・ランチミーティング・クラブ運営委員会など48回250名で話し合っサロンの運営を行い、コミュニケーションを学んだり仲間づくりに役立っています。

11月から「語り合おう！こころについて」が始まり、司会・書記などメンバーで行い、より一層自主的な活動になってきました。引き続き23年度はピア活動（利用者主体の活動）を目指して、より過ごしやすい意義ある“サロン”をメンバーと共に創っていきたいと思います。



恵方巻作り



断酒会へバンドクラブ参加



お花見



バレーボール大会参加

4. ワークセンターこむぎ(就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)

ワークセンターこむぎは、平成22年度、2年目となった就労移行支援のほか、5月に新規開設した就労継続支援B型事業の利用者の方々が少しずつ増え、にぎやかになりました。

継続B型の開設に伴って、それまでの製パン・喫茶以外に内職の作業を開始、草取り作業もハートケアセンターこころの就労チャレンジ事業から継続B型の作業となりましたが、年間契約を交わしている事業所以外にも、アパートや畑の草取り等の作業を請け負わせていただきました。引き続き、利用者の皆さんに安定した作業を提供するためにご協力をお願いします。

就労移行支援事業は、清水テクノカレッジの事業主委託訓練(3ヶ月)を利用した後、2名の方が就労継続支援A型、民間の高齢者デイサービス事業所に就労したほか、23年4月と5月にそれぞれ1名の方が希望職種に就労しました。23年4月には、就労移行と継続B型の作業場を分け、継続B型はハートケアセンターこころ内の1室に作業室を移し、活動を再開しました。

5月末現在、定員の10名を超える12名の方が利用登録をしていますが、毎日通える人ばかりではないため、曜日によっては4~5名という日があります。利用登録8名の就労移行とともに、利用者の安定確保が運営(経営)上の課題ではありますが、就労は長い人生の中の選択肢の一つ、その人自身が希望する自分らしい人生を送るために、ひとりひとりの気持ちに沿った支援をしようと考えています



就労移行支援
荷縄屋にてパン販売



就労移行支援
掛川花鳥園見学



B型での内職作業



新作業室でのB型作業

5. 生活訓練事業廃止について

生活訓練事業は次の理由により 3 月 31 日をもって廃止いたしました。

- 1) 利用者数が少なく、今後も利用者数の増加が見込めない。
- 2) 利用者のニーズが就労を目的としたプログラムに変化してきており、当法人も生活訓練よりも就労系の支援に力を入れていくため。

2 年間利用者さんたちは自分の目標や課題に向けて努力してきました。ここで学んだことをこれからの生活や次の活動場所で活かしていけると期待しています。

家族茶話会について

「NPO法人こころ」利用者家族が「元気」で「明るく」「健康的」な生活ができるようにする趣旨で共通の悩みや苦しみ等を話合うこと及びテキスト・DVD等による学習を毎月第3土曜日 午後 1 時～3 時開催しています。新たな方も大歓迎です是非参加ください。

なお、7月 17 日（土）午後に“家族による” 家族のためのピア活動“のテーマでセミナーを実施します、詳細はこころに問い合わせください。

平成 23 年 1 月～5 月のイベント報告

3 月 11 日に県拠点活用機能事業を受託し、島田市夢づくり会館で「2011 こころと福祉のセミナー」“まち”を元気に！～地域の活性化をめざして～を開催しました。

キーワードを「まち」と「活性化」とし、私たちの住む“まち”で障害のあるなしにかかわらず、そして支援する、されるという関係でもなく、同じ住民として“まち”を元気にする方法を探ろうというのが今回のテーマでした。当日は東日本大震災のため講師 3 名は新横浜駅付近の新幹線内に足止めになっていることがわかり開催中止も検討しましたが、講師の所属する「ハート in ハートなんぐん市場」の活動ビデオを鑑賞した後、講師の携帯電話につなぎやり取りする方式で進めることにしました。思いもしないセミナーになりましたが自治会、商工会、障害当事者より何件かの質問があり、また 聴講者の皆様が最後まで席を立つことなく熱心に耳を傾けておられました。ありがとうございました。



今後の主な行事予定

1. 夏祭り 日 時 平成 23 年 8 月 20 日(土) 11 時 30 分（開場予定）～15 時頃
場 所 ハートケアセンターこころ 島田市島 581-14
内 容 ゲーム、ビンゴ、ステージ発表、展示、バザーなど

ボランティア募集

作業補助ボランティア、利用者が外出する時（不定期）の運転ボランティア、外出プログラム（不定期）の付き添いボランティア を募集しています。（詳細は 0547-46-5561）

寄付と外注作業紹介のお願い

- 1) 石鹸、洗剤、タオルなどの日用消耗品と調味料・食材
- 2) 夏祭りのバザーで販売する品物
- 3) 就労継続支援 B 型事業は安定して継続できる仕事を探しています、ご紹介ください。
・草取り作業などの農作業袋・つめ・シール貼り、部品組立てなどの軽作業
- 4) アルミ缶・古紙（ダンボール、新聞紙、雑誌・雑紙）の提供

助成金ありがとうございました。平成23年1月～5月入金分

順不同・敬称略

公益信託市川園社会福祉基金

静岡市にあるお茶の市川園よりパン販売用の軽自動車購入助成金を頂きました。3月末に納車されパンの販売・納品に毎日使用しています、ありがとうございました。



島田市社会福祉協議会：地域福祉活動資機材購入費

就労移行支援の一環で行っているイベント等で使用するコーヒーマーカ―を購入しました。ありがとうございました。



寄付金ありがとうございました。平成23年1月～5月

順不同・敬称略

松澤文	木村啓子		
小谷和海	田島 勝正		

賛助金ありがとうございました。平成23年1月～5月

順不同・敬称略

アクトホーム(株)	鈴木勝	中川正彦	あかりディサービス宮川
エースクリーニング(株)	(株)大石時計店	(株)オーイシ	(有)児玉産業
寺田製作所(株)	小田部雄次	なごやか	(有)牧野設備
森下美子	山本 勇	小原きよ子	

特定非営利活動法人 ころを

応援してください

賛助会員募集中！！

賛助会費

個人 1口 3,000円(年額)

団体 1口 5,000円(年額)

特定非営利活動法人 ころをは、島田市島に拠点を置き、誰もが地域で安心して生活ができる街づくりを目指して、『こころの健康、明るい地域』をモットーとし、『個の尊厳』『人権の擁護』『自己決定の尊重』の精神を大切に、精神保健福祉・障害者福祉活動に取り組んでいます。

ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

詳細は電話(0547-46-5561：担当 岡野)にてお問合せください。

《へんしゅう筆》

・こころの日常活動は安定しつつありますが、相変わらず経営は厳しい状態が続いております。今後ともご支援のほど宜しくお願い致します。